

沖縄経済の実態

平成12年(2000年)、17年(2005年)産業連関表からみた特徴

1. 県内生産額

大阪府の1/10

H17	5兆7千億円	h12	5兆9千億円
大阪府			69兆9千億円
東京都	168兆4千億円		165兆7千億円
宮崎県			6兆6千億円

2. 産業構成(生産額)

(1) 第2次が極めて低く、第3次が大阪よりも高い

	第1次	第2次	第3次
全国 (h12)	1.5%	40.3%	57.7%
沖縄 (h12)	1.8%	27.0%	70.7%
(h17)	1.8%(±0)	21.3%(-5.3%)	76.9%(+5.3%)
大阪 (h12)	0.1%(±0)	33.8%(-3.8%)	66.1%(+3.8%)

(2) 産業特化係数

高いもの 公務(2.38)、医療・保健・社会保障・介護(2.06)、建設業(1.66)

低いもの 製造業(0.31)、情報・通信(0.75)、商業(0.83)

3. 政府消費支出

総需要(総供給)の13.1%(h12)が政府消費支出。長崎11.7%、佐賀8.8%に比して多い。

これが、公務(軍関係勤務?)、建設業の高さに関連していると考えられる。

4. 移入・輸入/移出・輸出

H12 移輸入1兆9千億円(24.7%) > 移輸出9千億円(11.7%) 差引 - 1兆円

長崎県 25% > 18.8%

宮崎県 25.0% < 29.2%

佐賀県 25.6% < 37.5%

大阪府 19.4% < 26.8%

東京都 移入34兆円 < 移出60兆円 差引 + 25兆円

財・サービスの大きな入超になっている。

自給率 h12 72.1% h17 74.1%

自給率の低い産業: h17 製造業(32%)、運輸(57%)、商業(65%)、情報・通信(69%)